

三の丸地区における空間の あり方に関する研究 ～名古屋城の眺望に着目して～

【令和5年度 研究成果報告会】

名古屋都市センター 調査課

中野 優

現状

三の丸地区は緑豊かな官庁街が形成されているが、
名城地区と栄地区とを分断しており、にぎわいの連続性が絶たれている



今後

老朽化に伴う建物群の建替え等が予想される
リニア中央新幹線の開業を見据えたまちづくりが求められる



三の丸地区の再生に向けた新たなまちづくり（現状の官庁機能に加えて、
新たな機能導入、付加価値の創出 等）

「名古屋城の眺望に着目した三の丸地区の空間形成」

目的

三の丸地区の新たなまちづくりを見据え、
名古屋城の眺望に着目して、3D都市モデルを活用した
意見収集を行い、三の丸地区における空間のあり方を提案

現状の名古屋城の眺望と 三の丸地区の空間の把握

- ・名古屋城眺望景観保全、名古屋城天守閣への眺望
- ・空間を検討するうえで大切にすべき要素

3D都市モデルの作成

意見収集・分析

詳細は
報告書を参照

提案

- ・新たなスカイラインの形成
- ・名古屋城天守閣への眺望

○パノラマ景観

三の丸地区は、標高62m・地上約49mの高さ制限（名古屋城の高さを超えない）



○見通し景観

テレビ塔のスカイデッキから名古屋城への眺望を確保（努力目標）



現状の空間の把握－名古屋城天守閣への眺望

三の丸地区内のグランドレベルからは、樹木等の影響で基本的に天守閣が見えない



- ・三の丸地区内の建物上層部からは、天守閣への距離が近く、迫力があって見える
ただ、現状は執務室等として利用されているため、一般の人は立ち寄りづらい
- ・名古屋駅方面からは、緑に囲まれた天守閣が見えて、名古屋の象徴的な空間を感じれる



○新たなスカイラインの形成

現在の官庁機能に加えて新たな機能導入、付加価値の創出をするには、現状のルールを見直す必要があり、名古屋城眺望景観保全（一律に高さを制限）に着目

- ・名古屋城から三の丸方面を見た時に、**開放感**があるようにする
- ・三の丸地区は整然とした街区割であるため、**統一感**のある空間づくりが大切
- ・テレビ塔から名古屋城への眺望は、**城の存在感**が高まるような見せ方が大切
- ・三の丸地区の建物を建物群として見た時に、**特徴的・象徴的**な空間づくりが大切

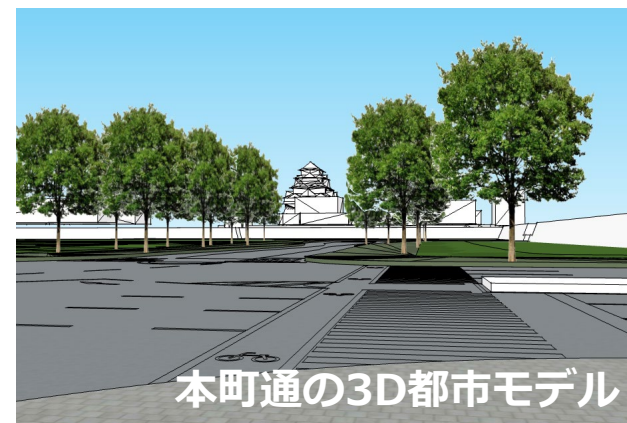
○グランドレベルから天守閣への眺望

現状は天守閣を見ることができない

- ・天守閣が見えることで、**新たな付加価値**が生み出され、三の丸地区の**ブランド力の向上**につながるため、**見えるようにする**ことが大切
- ・三の丸地区と名古屋城で地上高が変わらないため、**特定の場所**から見えるようにするべき

大切にすべき要素を踏まえて、3D都市モデルを作成し、意見収集を実施（詳細は報告書参照）
（主な調査項目：好きな景観、新たなスカイラインの形成、天守閣への眺望、シビックプライドとの関係）

- ・名古屋城は名古屋市内の景観の中でテレビ塔・久屋大通公園に次ぐ**2番目に好まれる景観**
- ・三の丸への**来訪頻度が高い**からといって、**名古屋城を好んでいる割合が高いわけではない**
- ・スカイラインの形状は**谷型の形状**が好まれる
- ・グラントレベルからは、良く見えることが期待され、その中でも**本町通から天守閣が良く見える**ことが好まれる
- ・名古屋城とテレビ塔の眺望は、この眺望を守るべきだ
という意見が多かったものの、**絶対に守るべきである
というまでのものではなかった**
- ・名古屋城天守閣が見えることで、**シビックプライドの
向上に繋がる**



谷型のスカイラインの3D都市モデル



- ・名古屋城天守閣の展望室 ➡ 開放感があって、統一感も感じられる
- ・テレビ塔スカイデッキ ➡ 名古屋城の存在感がある

谷型の
スカイライン

建物高さは、低い方が好まれる傾向にあったが、今回はあまり大きく印象は変わらない

谷型で建物低の3D都市モデル



谷型で建物高の3D都市モデル



谷型のスカイラインを基本とする

建物の形状や建物配置、デザインなどもセットで詳細な検討が必要

提案－②グランドレベルから天守閣への眺望

- ・名古屋城天守閣が良く見えて、その中でも本町通から見える方がいい
- ・天守閣が見えることでシビックプライドの向上につながる



すべての樹木の伐採や低木化は現実的ではない・・・

- ・名古屋城の正面に位置し、名古屋の歴史軸である**本町通**
- ・名古屋城の観光客が最初に地上に出てくる**名古屋城駅出入口**

**名古屋城を見ることができて、
ワクワクするような空間にするべきである**

現状の三の丸地区内の建物上層部は、一般の人が立ち寄りにくい空間



熊本市役所

展望スペース+レストラン



神戸市役所

ラグジュアリーホテル

- ・誰でも立ち寄れる**展望室**
- ・観光客・出張に来たワーカーが楽しめる**レストラン**
- ・風格のある街並みに寄与する**ホテル**

三の丸地区に付加価値を生み出していく

この眺望を守るべきだという意見が多かったものの、
絶対に守るべきであるというまでのものではなかった

テレビ塔が完成した当時(1954年)
は、栄地区の開発が進んでおらず、
名古屋城の北側も建物がなかった
ため、天守閣が際立って見えた

昨今の都市開発の影響から天守閣
の存在感が薄れてきている



・ この眺望をどのように守るのか、活かすのか

**行政・市民・地権者・来訪者等と議論して、
この眺望の価値を再定義することが必要**

**三の丸地区の再生に向けて、
近世のまちづくりの象徴である名古屋城
を重視し、近未来的な要素を取り入れ、
ここでしか感じられない価値を提供する
まちづくりを期待したい**

ご清聴ありがとうございました